



高砂市 人権教育及び啓発に関する 基本計画



基本
理念

個人が尊重し合い、誰もが安心して、
自分らしく暮らすことができるまち

計画期間:2026(令和8)年度～2030(令和12)年度

人権とは?

すべての人が幸福に生きるために欠かせない、生まれながらにして持っている権利であり、その重要性は社会の変化とともに一層増しています。

本市は、年齢、性別、障がい、出身、文化の違いに関わらず、誰もが安心して自分らしく生き、互いを尊重し合えるまちをめざします。



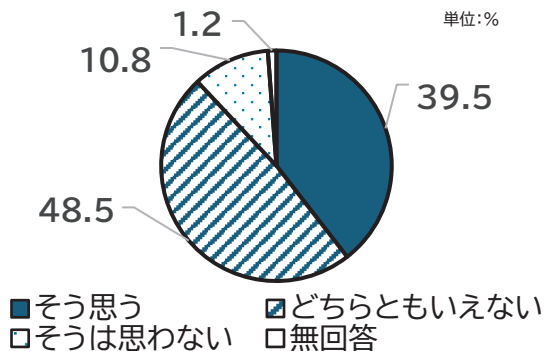
調査結果からみる高砂市民の人権意識



調査結果の詳細はこちらから▶

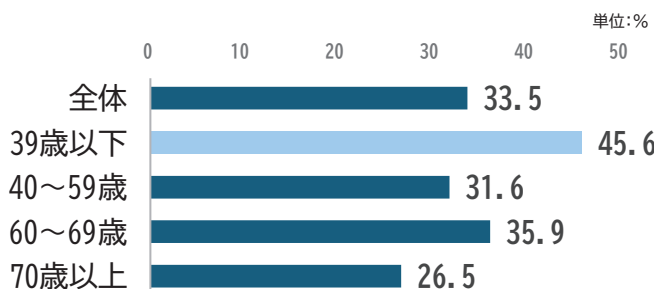
市民向けに実施したアンケートから3つご紹介！

Q1 高砂市は、人権が尊重されている市だと思いますか？



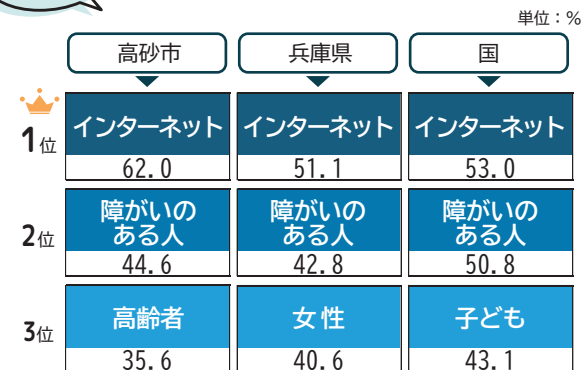
約4割の人が「そう思う」と答えており、前回調査時（約3割）よりも人権が尊重されていると感じる人が増えています。

Q2 人権を身近に感じますか？



人権を身近に感じる人は約3割で、若い人（39歳以下）のほうが人権を身近に感じている傾向がみられます。

Q3 関心のある人権問題は何ですか？



「インターネット」に関する人権問題への関心が高まっており、国や兵庫県においても最も関心の高い項目となっています。



高砂市が取り組むべき4つの課題

1

インターネットによる人権侵害をテーマにした教育・啓発

2

相談窓口の拡充
相談体制
のさらなる充実

3

よりみてもらえる
「広報」への
取り組み

4

親しみやすく
わかりやすい
学習内容の提供



人権教育・啓発に関する横断的な施策の推進

あらゆる場における教育・啓発



人権問題と深い関わりを持つ職業従事者に対する人権教育の推進



身近な人権課題への取組

本市では、以下の人権課題に対し、個人が尊重し合い、誰もが安心して、自分らしく暮らすことができるまちの実現をめざします。





基本目標



計画書本編はこちらから▶

人権教育

すべての市民が、生涯にわたり人権を学び、理解を深めることができる環境を整えます。幼少期から高齢期まで、ライフステージに応じた学びを促進し、人権尊重の心を育みます。

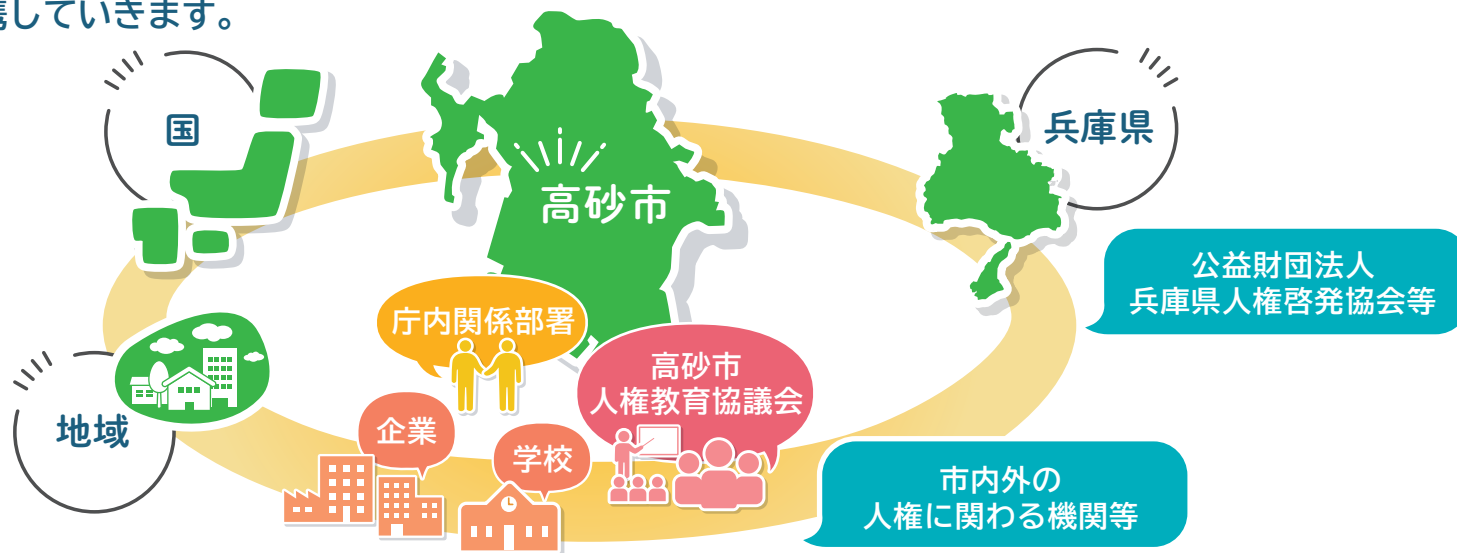
人権啓発

人権を日々の暮らしの中にある「身近な問題」として捉えられるよう、多様な手法で啓発を行います。行政、地域、企業が連携し、課題解消に向けた総合的な体制を築きます。



施策や取組の推進にあたっての連携強化

施策や取組の推進にあたっては、市内外の人権に関わる機関等との連携を図るとともに、人権尊重のより広範な普及をめざし、各種関係団体とも連携していきます。



編集・発行：高砂市福祉部人権推進課

発行日：2026(令和8)年3月

TEL：(079)443-9060(直通)